

アカシア探険隊

M1・2019(冬)

～ネットヨタ中国潜入の巻～



69回 榎本 良二氏
～ネットヨタ中国株式会社
代表取締役社長～

陰：向井会長、いつもアカシア会の締めでエールをやって頂く彼をクローズアップしたいと思います。

会長：そうだな。どんな思いで彼がエールをするのかちょっと深堀りして来なさい。

陰：わかりました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
ということで今回は、ネットヨタ中国株式会代表取締役社長で、アカシア69回の榎本良二さんにお話を伺ってきました。

陰：本日はお忙しい中、お時間を頂戴しましてありがとうございます。

榎：よろしくをお願いします。

陰：大学卒業時に入社された東京海上火災保険(現東京海上日動火災保険)から、現在はネットヨタ中国に転職されています。きっかけは？

榎：東京海上では企業担当営業、従業員組合幹部を経験した後、自動車ディーラー担当営業を15年余りやっていました。その経験を買われたのか、2010年岡山支店勤務の時、東京海上の常務から「広島にあるネットヨタ中国の将来の幹部にという話がある。どうか？」と打診があり、3秒熟考の上、「広島の為に役に立ちたい、チャレンジさせてほしい」と回答しました。

その後、現オーナー(ト部会長)面接で、自分から「自動車・機械の事は実は全くわからない」と最初にお話すると、「夏暑い日、冬寒い日、ひたむきに頑張るエンジニアを励ます事ができるか？」と聞かれ「自分は人を応援することを生業としてきたので、き

っと大変な彼らを応援することはできない」と答えました。この一問一答のみで入社となりました。

陰：榎本さんの強い志がオーナーの心を動かしたのでしょうか。

現在は会社の経営者として、どんな思いで取り組んでおられますか？

榎：当社のキャッチフレーズは、社名「ネットヨタ中国」をもじって「あなたにネット中！おもてなしは標準装備！」。CS(お客様満足度)を最重要視し、お客様にどうしたら喜んで頂けるかを常に考える社風を作る事を心がけています。おかげでCSは全国280社あるトヨタ販売店の中で上位10位にランクインしました。

また、私自身は「社員の応援団長」として、社員の小さな頑張りを見逃さず、感謝・激励のため毎週土日、県内17拠点をすべて回り、250人の社員に声をかけるようにしています。

陰：なるほど、行動こそ真実。榎本さんの熱い経営手腕が伺えますね。

さて、附属学生生活についてお伺いしたいと思います。どんな生徒だったのかお聞かせください。

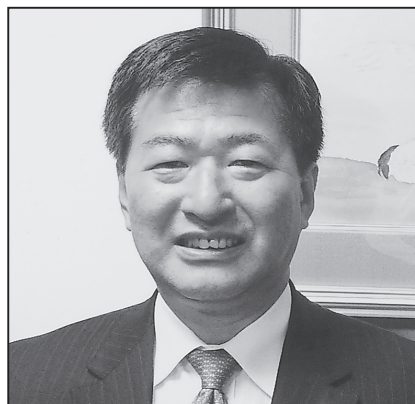
榎：とにかく人のお世話係でした。中1・中2と総代に選ばれ、中3の時には協議会議長。高Iは総代、高IIは書記局長。生徒会活動など、ずっと人のお世話をしていました。

陰：何がそんなお世話好きの榎本さんにしたのでしょうか。

榎：実は中3の遠足だったと思います。私の故郷の白木山に登る事になり、私の母が皆さんにと、おはぎを40名全員分80個作ってくれた事がありました。本当に皆、喜んでくれた記憶があります。家族を含めこんなお手伝いする喜びをいつの間にか培ってきているのではないのでしょうか。

陰：お母様の素晴らしい教育の1コマですね。

榎：はい。母には本当に感謝しています。もうひとつは、恋多き少年・青年時代でしたが、毎回彼女にはことごとくふられていました(笑)。そこで身についたのは、人の心の痛みに思いを寄せることでした。中学生の頃から、ずっ



P r o f i l e

1979年	広大附属高校卒業(アカシア69回)
1984年	東京大学経済学部卒業
1984年	東京海上火災保険株式会社入社
2011年	東京海上日動火災保険株式会社退社
2011年	ネットヨタ中国株式会社入社
2015年	同 代表取締役社長就任 現在に至る

と日記をつけており、彼女に対しての想いが毎日綴られていて、まさに「ほろ苦日記」です。

陰：涙を流して日記を書いている榎本さんが想像できませんが(笑)、ここでも人間形成の為の貴重な経験をされたようですね。

クラブ活動についての思い出はありますか。

榎：中学時代は野球部所属。投手もやりましたがノーコンですぐにクビに。1番センターで韋駄天でした。入部当初は部員2名で、すぐレギュラー。最初の試合は、3回コールド13-0で負けましたが、2年後半から強くなり3年夏は広島市ベスト4まで進んだことが誇りとなっています。頑張ればできる、を体験しました。

陰：附属時代の一歩の思い出は？

榎：中3の時、中高合同体育祭を実施することになり、当時高校II年生の実行責任者の片岡明彦先輩(67回)と夏休み中、毎日打ち合わせをし、無事大成功を収めました。今も合同実施が続いていることに感慨を覚えます。

片岡先輩はツルツルの坊主頭の情熱的な方で、私が高校I年の体育祭では赤組の応援団長を務められました。そ

TATESHIBA

General Engineering

株式会社 立 芝
代表取締役会長 向井 恒雄 (50回卒)

[Http://www.tateshiba.co.jp](http://www.tateshiba.co.jp)

の応援団員に誘われた私は、応援団の魅力に取りつかれ、体育祭終了後、そのまま学校の応援団に入団しました。その後、大学でも応援部に入部し現在に至っています。片岡先輩は、40年余りお会いできていませんが、私にとっては神様のような方です。

陰：附属で榎本さんが培われたもの、また附属の良さを感じる事など、ありますか。

榎：クラブ・生徒会活動・体育祭・文化祭などを通じて、「仲間を大切にすること」を学びました。また、アカシアの先輩・同期・後輩の「絆」は素晴らしく、特に広島に帰ってきてから、本当にアカシアの皆さまに助けて頂いていることが実感です。「自由闊達」な校風でのびのびと自由な発想、明るい性格、へこたれぬ根性が養われたと感じています。



陰：続いて東大生時代の思い出をお願いします。

榎：基本的には真面目で講義には90%は出席しました。しかしながら授業内容はほとんど忘れてしまい、今役立っているのは応援部に入部して学んだ「社会勉強」のみです。

陰：その東大応援部の思い出を。

榎：「高校時代応援団であった」とクラブ勧誘の際一言言った瞬間、応援部に拉致され、4年間「応援部の榎本」で過ごすことになりました。大学1年の夏、帰省した際に母に応援部の入部を告げると「応援をやらせる為に東京に出したのではない」と泣かれてしまいました。当時、ギャグ漫画「嗚呼、花の応援団」が流行していて、応援団=不真面目と思われるような風潮でもありました。結局4年生の時には主将(団長)、東京六大学応援団連盟委員長となり、応援団を極めました。神宮球場での六

大学野球の応援が中心でしたが、当時は1つ下で大越健介投手(現NHKキャスター)たちもあり、4年間で21勝、非常に応援し甲斐がありました。

運動部の仲間を中心に、東大はもちろん、東京六大学応援団、京大等の旧帝大にも多くの友人がで、これが私の宝になっています。毎年の六大学応援団の同窓会には35年間かかさず参加しており、各地から応援のエールの依頼があれば駆け付け、飛び回っている現在です。

陰：地域アカシア会総会等に出席され、「エール」を積極的に送られる榎本さんの心情をお聞かせください。

榎：応援団は「エール」で母校の同窓生の心をひとつにし、絆の結束を強くするのが役目です。その為であれば、都合がつけばどこへでも馳せ参じて「エール」を送りたいと思っています。春と秋の東京アカシア会にはもう20年以上、各地の勤務先から馳せ参じてきました。

アカシア会同窓生である湯崎(英彦)広島県知事(75回)の出陣式でも3回エールを送らせて頂きましたが、頑張っておられる同窓生の励ましが出来れば、これに勝る喜びはありません。結婚式や各種式典パーティーでは最後に「幸せ配達人」としてエールを送っています。皆さんが幸せに元気になって頂けるよう、これからも「応援道」を極めていきたいと思っています。

陰：現在全国アカシア会では広告委員長としてご尽力頂いていますが、皆さんにお伝えしたい事はありますか。

榎：アカシア会会員名簿は、全国一の精度を誇る素晴らしい名簿です。葉と同様「一家に一冊!アカシア名簿は常備薬!」是非、皆さん、会社広告・同期会広告など掲載して頂き、名簿広告の援助もさることながら、積極的に名簿購入をお願いいたします。同期・先輩・後輩の消息もわかり、年賀状を書く時とても役に立ちます。年を重ねるごとに同窓生の素晴らしさを実感するようになります。

陰：同窓会については如何でしょう?

榎：もっと積極的に同窓会に出席して頂

きたいです。各界でご活躍されておられる素晴らしい先輩・同期・後輩に出会うことができ、自分自身にも大きな刺激をもらえ、元気になることができます。お互い誘い合えるネットワークを充実させることで幅も広がっていくと思います。

陰：同窓会の人的ネットワークを拡げていくことは本当に素晴らしい事であり、大切な事と私も同感です。

最後に今の現役生の皆さんにお伝えしたいことをお願いします。

榎：附属生である事の誇り、アカシアである事の誇りをもってほしい。いろいろな分野で、それぞれの才能を活かして頑張っている先輩が多くおられます。是非、大きな夢を持って広島から社会へ広く目を向け、見開いて、頑張ってもらいたい。困ったらきっとアカシアの先輩が助けてくれます。

また、4年前のキャリア講座でもお話しましたが、私の人生のモットーは「日々是感動!!人生は思い出作り!!」日々感性を研ぎ澄ませ、沢山の感動を重ね、多くの素晴らしい思い出を作っていってほしい。その積み重ねが、素晴らしい人生に繋がっていきます。

陰：これからも体力が続く限り「エール」を送って頂き、我々アカシア会が強く結束し続けることを願って終わりにしたいと思います。

本日は本当に有難うございました。

榎：了解しました。こちらこそ本日は有難うございました。

.....

陰：向井会長、彼の「エール」には並々ならぬ熱い思いがありました。

会長：そうか、事あるごとには彼に「エール」をやってもらって皆さんをもっと元気にしてもらわんといけんのう!

編集・文責 陰山 秀明(63回)



アカシアにネツ中!!お車のご用命はマッキーまで



VITZ



SIENTA



VELLFIRE



VOXY



TANK



C-HR

おもてなしは
標準装備!

あなたに
ネツ中!

ネッツトヨタ中国

本社/広島市西区庚午中一丁目18番13号 Tel.082-275-3333

《営業時間/AM9:30~PM7:30》WEBサイトへアクセス!> ネッツトヨタ中国 検索

ネッツトヨタ中国株式会社 代表取締役社長 榎本 良二 [69回]